

## 連載

### 学校運動部活動と連携するクラブ

## 総合型地域スポーツクラブ なかよしクラブ

### <愛知県みよし市>

学校運動部活動をめぐっては、少子化による生徒の減少、それに伴う教員数の減少、専門的指導力を持つ教員の不足等により、生徒のニーズに応じた部活動自体が成り立たなくなる現状があります。

スポーツ庁および文化庁が策定した「学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドライン(令和4年12月)」において地域クラブ活動と学校運動部活動との連携が示されています。

そこで今回は、学校運動部活動と連携する総合型クラブの取り組みを紹介します。

### 1 クラブ概要

#### 会員数は年々増加 現在は約1000人

なかよしクラブは、スポーツ活動を通じた、会員の健全な心身の育成、地域の教育力の向上、青少年健全育成、地域住民の生涯スポーツの推進を目的として、平成16年6月、みよし市初の総合型地域スポーツクラブとして設立されました。

みよし市は、「きたよし地区」(北部地域)、「みなよし地区」(南部地域)、「なかよし地区」(中心部)の3地域に分かれており、各地区に総合型地域スポーツクラブが設置されています。ちなみに、当クラブは「なかよし地区」に属していることから、なかよしクラブと名付けました。おかげさまで年々会員数が増加し、会員数は約1000名となりました。

#### 助成金受けずに毎年積立金に 市補助金を事務員人件費に活用

幸いなことにクラブ設立以来、一度もtoto等の助成金を受けることなく、毎年積立金を積み上げることができています。財源の中には、みよし市からの補助金があり、事務員のパート代として活用しているため、クラブとしては非常に助かっています。この補助金は当クラブだけでなく、みよし市内の他の2クラブにも支給されています。

## スイミングスクールと連携した「小学生の水泳教室」が人気

当クラブで最も人気のある教室として、小学生の水泳教室があります。この教室はスイミングスクールと連携実施しており、安価な金額でスイミングスクールの指導者の指導が受けられる教室となっています。内容はクロールのみのため、クラブは安価に水泳のプログラムが提供できます。スイミングスクールは、クロールを習いたい初心者の受講者獲得についてはクラブに任せ、クロール以外の泳法を習いたい子どもに関しては、スイミングスクールを紹介してもらえという、双方にメリットのある仕組みとなっています。会員の方からも安価にスイミングが習えると好評を得ており、財源の確保にも役立っています。



水泳教室

## 2 利便性高い中学校を拠点に部活動と連携

### 中学校内にクラブハウス 学校側との交渉もスムーズ

なかよしクラブ事務局は、三好中学校北校舎2階に置かれており、学校そして先生方や生徒の皆さん、保護者の方にも大変親しんでいただける環境にあります。三好中学校に設置が決まった経緯は、中学校内の教室に余裕があったこと、中学校という地域の方々に認知されている場所であり、さらに防犯の観点からも適しているとの考えから、設置が決まったと聞いています。中学校内にクラブハウスがあることで、地域住民からの認知や理解が得られやすく、学校側とのやり取りも非常にやりやすいです。

### 吹奏楽部とソフトテニス部が団体会員

部活動連携については、吹奏楽部とソフトテニス部が団体会員としてクラブに入っています。卓球では、クラブの教室に卓球部の生徒が参加できるようになっています。吹奏楽部はもともと他の施設を借りて練習していましたが、当時の顧問の先生がクラブと学校に掛け合い、なかよしクラブならということ鍵を貸してくれることになりました。それにより、施設を借りるお金もかからず、楽器も移動させなくてもよくなりました。

## 地域移行に欠かせない保護者の協力

冬季は16時で下校となり練習時間が確保できないことから、保護者が監督となり、鍵当番を行うことでクラブとして活動しています。保護者は鍵の管理の他、安全管理とケガ等があった場合にクラブマネージャーに緊急連絡をする保安要員の役割を担っています。このように保護者に安全管理および鍵当番について協力してもらうことで、現在検討されている部活動の地域移行に対応できるのではないかと考えています。



吹奏楽部



ソフトテニス部

## 顧問異動時の対応が検討課題

運動部活動との連携の課題についてですが、以前、中学校のある種目の顧問から「未経験なので専門の指導者を派遣してほしい」とクラブに依頼があり、指導者を派遣しました。ところが、年度が変わり顧問が経験者に代わったら、「クラブからの指導者は必要ない」と言われ、クラブとして大変困った事例がありました。クラブとしては学校に協力したいということで指導者をお願いし、指導者の方もこれからというところで辞めざるをえなくなってしまうことがあります。現時点では指導者派遣は行っていないのですが、今後もし行うのであれば、この点について初めの段階で協議しておくことが必要だと感じています。

## 部活動とは別の教室では元トップアスリートが指導

現時点ではクラブの活動での指導者謝金と、現在検討している運動部活動の地域移行での指導者謝金とに違いがあり、財源をどのように確保するかが懸念事項となっています。

土曜日の午後と日曜日の午前には、ソフトテニスの世界大会に出場された方に指導をお願いし、部活動とは別で教室を開催しております。このように、クラブでの指導者は種目によっては地元企業の実業団に所属していた元トップアスリートをお願いしています。元日本代表やトップアスリートから指導を受けられる機会は貴重であり、子どもたちの成長にもつながっていると思います。なお、こうした指導者にはクラブの役員にもなってもらっています。

会費は高校生以上2000円、中学生以下が1000円となっており、各講座にそれぞれ参加料が必要となります。参加料については種目ごとに異なり、必要な経費に応じて設定されています。



ソフトテニス教室



サッカー教室

### 3 部活動の地域移行で求められる 総合型クラブの役割は

#### 学校と指導者の間を取り持つのがクラブの役割

専門の指導者に指導してもらえることから、保護者からは信頼を得ていると感じています。運動部活動の地域移行については、クラブが学校側と指導者との間に立つ中間管理職的な役割が求められると感じています。学校側が指導者を求めている場合、指導者にふさわしい方をクラブとして推薦する必要があるのではないのでしょうか。現在みよし市では、日本スポーツ協会公認指導者の活用を検討しており、資格を持つ指導者に中学生年代への指導方法について研修を受けてもらうことを検討しているようです。

#### 顧問が未経験者のケースこそ総合型クラブの出番

部活動の現状を見ますと、先生がまったく経験のない部活動の顧問になってしまうケースもありえます。そんな時に総合型地域スポーツクラブが少しでも何か補助できるような体制を、無理のない範囲で整える必要性も感じます。クラブが部活動とは別に補助することで、顧問の方が交代で休息を取れば、少しは多忙化の解消になるのではないかと思います。

#### 地域移行推進に向け、照明の設置を市に要望

施設面での課題として、現状グラウンドに照明がついていないので、照明の設置を市に要望しています。照明が設置されれば、夜間のグラウンドでの活動が可能となるため、地域移行においても活用できると考えています。

#### 市と協議を重ね、地域移行に協力

現在は、部活動の地域移行について週に1度のペースで市の担当部署と話し合いを進めているところです。地域に根差したクラブとして、地域移行に協力していきたいと考えていますので、これまでの経験を生かして今後も活動していきたいです。

## 4

### 今後の地域移行具体策を検討一 市の部活動改革検討委

みよし市では、部活動改革検討委員会が設置されており、小中学校の先生、教育委員会、市内総合型地域スポーツクラブで構成されています。まだ具体的な施策は検討中ですが、今後、地域活動を主体に子どもたちの活動の場をつくっていかうとしております。

#### クラブ卒業生が活動支援→人材の好循環

なかよしクラブが設立されて20年が経過し、なかよしクラブで活動をしていた子どもたちが大人になり、クラブを支えてくれる存在となっています。このような人材を活用しながら今後も活動をしていきたいと考えております。

(総合型地域スポーツクラブ なかよしクラブ クラブマネジャー 出原 裕仁)

#### クラブプロフィール

**設立年月日** 平成16年6月19日

**所在地** 愛知県みよし市

**運営** 会員数約1000名(令和5年3月現在)、予算規模1千万円(令和4年度)

**連絡先** 〒470-0224 愛知県みよし市三好町宮ノ越42

TEL / FAX 0561-34-1771

URL [http:// www.hm10.aitai.ne.jp/~nkysclub/](http://www.hm10.aitai.ne.jp/~nkysclub/)

E-Mail [nakayoshi\\_c2004@yahoo.co.jp](mailto:nakayoshi_c2004@yahoo.co.jp)

